

平成19年(2007年)3月20日発行



学校法人日本工業大学創立100周年

現在建設中の百年記念館前の広場には、桜の樹が数多く植えられている。もうすぐ美しい花を咲かせて、記念の年を華やかに彩ってくれることだろう。左は、無限を表す「メビウスの環」をモチーフとした100周年記念シンボルマーク。



# 学位取得おめでとう 卒業生へ贈ることば



学長 柳澤 章

卒業おめでとう。諸君は、本学において体験を通じた実践的な工学である「実工学」を修められ、そして今、社会へと活躍の場を移します。実工学を身につけたことは、将来に向けて大きなアドバンテージとなるでしょう。

今日、産業界などが懸念していることの一つは、大学など工学の専門教育において、ものづくりの経験をもっと持たない学生が、実感が伴わないままにコンピュータの画面でのシミュレーションでの学びをしていること、しかも専門領域が細分化されており、そのために消化不良を起してしまっている、さらには

消化不良にも気づいていない、という問題があります。結果として、学んだ技術が現場の問題解決に活かされにくい、応用がききにくいということになります。これに対して、諸君が修められた実工学は、例えば工具や工作機械を使うなどして、実際に手を動かして製作物をつくり上げるという実体験と工学理論を結びつける学びです。様々な現場での問題解決に幅広く応用することができるとのことです。

何よりも、「ものづくりが好きだ」という気持ちが大きなアドバンテージといえます。好きなことに取り組む中で、感性が豊かに育っている。このことも、諸君一人ひとりの優位なポイントとしてカウントすることができるといえます。

生産現場で、新製品開発プロジェクトで、あるいは工業にとどまらない様々な事業活動の場において、ぜひとも自信をもって活かしてほしいと思います。そして、さらに高いレベルへと進んでいくことを願っています。さて、今日、テクノロジーに大きく期待されていることの一つは、二酸化炭素の排出削減など地球温暖化に歯止めをかける技術の開発です。

地球社会にとり、もはや待ったなしの状況になっていることは明らかであり、工業製品の製造現場において、あるいは物流における排ガスなどをはじめ、あらゆる企業の直面する課題であるといえます。生産性を上げることなく、また快適な製品を提供しながら、いかにして二酸化炭素の排出削減を実現するかは、まさにエンジニアの能力が求められるところであるといえます。

また日本社会では少子高齢化が進み、バリアフリー製品の需要はますます高まっています。いかに人々の生活実感に基づいてプロダクトデザインをすることができるか。エンジニアの感性の勝負のしどころといえます。そして21世紀は、グローバルな規模でエンジニアが競い合う状況がますます加速していくでしょう。実工学というユニークな学びを身につけて社会に羽ばたく諸君が、地球規模でダイナミックに活躍されることを心より願っています。

造現場において、あるいは物流における排ガスなどをはじめ、あらゆる企業の直面する課題であるといえます。生産性を上げることなく、また快適な製品を提供しながら、いかにして二酸化炭素の排出削減を実現するかは、まさにエンジニアの能力が求められるところであるといえます。

最後に、前々から懸案となっていた同窓会結成のための設立総会が去る2月10日に学長、総務部長の列席のもとに行われ、会長に林一雄氏、副会長に岡本信義氏、榎垣昌子氏、堀勇二氏の4名の一期生が選出された。同窓会を中心として更に専門職大学院卒業生の人脈が広がることを祈念したい。

## 体験が培った感性と 実践力を伴った技術を携えて



理事長 大川陽康

本日、めでたく学位を取得された諸君に、衷心よりお慶びを申し上げるとともに、今後の活動や研究への取り組みに関して助言を申し述べ、はなむけの言葉と致したいと思います。

ご承知のように、昨今は「知価革命」の時代と形容されるように、新たな知の創造や仕事の取り組み方に、旧来にならぬ方法論が求められております。

本年『多元化する「能力」と日本社会』(NIT出版)で大佛次郎論壇奨励賞を受賞された教育社会学者の本田由紀さんは、新時代に問われる能力として「多様性・新奇性」「意欲・創造性」「個別性・個性」さらには

「能動性」「ネットワーク形成力」「交渉力」などを挙げておられます。これに対して従前も認められた能力は、「標準性」「順応性」「同質性」などで、それはかような枠組みの中に収まってきえれば、いわゆる身すぎ世すぎが叶うという、ある意味では、たいへん気楽な社会でした。

しかしながら当節は、企業社会などで折々指摘されるように、独自の思考やアイデアを果敢に開示してゆく力が要求されます。参考までに昨年2月、経済産業省が東証一部上場企業ならびに中堅・中小企業270社を対象に実施した《社会人基礎力》に関する調査をふまえて

読売新聞社が昨年12月主催した《社会人基礎力シンポジウム》の基調講演で、北城格太郎氏(M会長)は、「スイスのビジネススクールの評価では、先進国を含む60か国中、最も競争力が高いのがアメリカで、日本は17位」と危機感を表明。「いま必要なのは、独創性の高い商品やサービス

スをつくり出し、実用化するイノベーション」と指摘、それを表現するには、まず「熱意や意欲」、続いて「実行力や協調性」、「論理的思考力」が求められると力説されております。

しかしながら、かような要請に込めるのは、容易なことではありません。まして厳しい競争にさらされる現代社会においては、既存の知識や技術は、急速に色あせてゆくのは必定です。従って、時代の流れに即応、独自の世界を築いてゆくには、つね日頃の弛まざる「学び直し」が肝要です。昨今は、その気になりさえすれば、生涯学習の場も事欠きません。それゆえ、どうかその点をつよく胸に刻んで実りある人生を送ってください。

終わりに、諸君の心のふるさとである本学は、この6月に創立100周年を迎えます。つきましては学園第二世紀の発展のために、末永く力強いご支援をお願い申し上げます。

小生としては、この様な機会に会社派遣を考慮しておられる企業の社長さん達が多数おられて、本大学院ではこんな実践的かつ業務改善に資するテーマを学んでいると誇りに思っています。

## 知価革命時代に即して 「学び直し」の姿勢を!

## ユニークで多彩な第2期生

専門職大学院だより  
大学院技術経営研究科  
研究科長 村川 正夫

本専門職大学院は平成17年4月1日に神田神保町の地に社会人を対象とした、夜間主体の学びの舎として開設された。早いもので、すでに開校から2年が経ち、第2期生の卒業の時を迎えようとしている。

このほかに、いわばダブルルキャリア獲得組とも呼ばれている。これは外部の方にも公開されており、いわば公認会計士と坂本真一氏(工学博士)のお二人がいるの皆さんにとっては審査員三名の質問にも答えなくてはならないし、緊張されたかもしれない。逆に人によっては一年間の学習成果を発表するまたとない機会ととらえたかもしれない。

最後に、前々から懸案となっていた同窓会結成のための設立総会が去る2月10日に学長、総務部長の列席のもとに行われ、会長に林一雄氏、副会長に岡本信義氏、榎垣昌子氏、堀勇二氏の4名の一期生が選出された。同窓会を中心として更に専門職大学院卒業生の人脈が広がることを祈念したい。

## カレッジマイスター 26名誕生



ロボット創造工房 2X4木造建築工房

- 本年度のカレッジマイスター称号認定者は、以下の5工房から計26名である。それぞれの工房で磨いた技と総合的判断力を備えた諸君には、学位記授与式で「カレッジマイスター」の認定証と金メダルが授与される。
- 【型技術工房】8名  
金子裕介、並木勝義、早川大介、藤井潤、宮澤博幸、山口名津子、山本学、吉田創
- 【エンジン工房】4名  
青木和央、新井秀和、上原寿史、平澤史一
- 【ロボット創造工房】3名  
安達祐樹、瀬尾祐輔、宮澤博幸
- 【2X4木造建築工房】4名  
飯田彰、金木慎一、木下靖裕、粟田郁希、海老澤守、田中直樹、村田一樹、安田和正、亀井謙一、亀川展明、望月優紀

阿久津信康、北島芳幸、青柳絵美、Boumanichae Sathanon  
本学の教育の柱、工房教育プログラムは本年度から全学的に整備・構築され、新たな工房が二つ加わった。加えて、ものづくりの基本を、ものに触れ、楽しく体験できる工房も充実し、本年度初めて「カレッジマイスタープライマリ」の称号認定者11名が誕生する。授与式は、来年度4月の学科専門オリエンテーション時に行われる。

## 留学生別科43名修了

3月1日、平成18年度春の修了式が学友会館ホールで行われた。修了者は中国24名、台湾3名、タイ1名、バンクラテシユ8名、ミャンマー3名、パキスタン2名、モンゴル1名、ベトナム1名の計43名である。進路は、本学学部へ10名、大



学長から修了証書を受取る別科生代表

春のオープンキャンパス  
3/24(土) 開催決定!

詳細はwww.nit.ac.jp

平成十八年度 卒業生一覽

3月20日付 確定者

早期卒業生

Table listing early graduates with columns for name, department, and affiliation.

機械工学科

Table listing graduates from the Mechanical Engineering Department.

電気電子工学科

Table listing graduates from the Electrical and Electronic Engineering Department.

建築学科

Table listing graduates from the Architecture Department.

その他

Table listing graduates from other departments.

システム工学科

Table listing students in the System Engineering Department, including names, graduation years, and university names.

学生代表と柳澤学長の

第5回懇親昼食会を開催



（前列左から）柳澤学長、河又君、梅崎部長、菅野君、水野君、高橋君、吉見課長

1月22日(月)、第5回目となる懇親昼食会が開催された。学生代表として学生梅崎部長からは「大学から自治会の委員長・会長が8名、大学側からは柳澤学長、梅崎学生支援部長、吉見学生支援課長が出席し、和やかな雰囲気で行われた。最初に学生代表の自己紹介が行われた後、まず話題になったのが学内「完全分煙化」についてである。学生側から「新入生を迎える食会をきつかけに、今後も気軽に話を聞かせてほしい」と締めくくった。

情報工学科

Table listing students in the Information Engineering Department, including names, graduation years, and university names.

大学院工学研究科修了生

博士前期課程
[建築学専攻] 竹川 允人、池田 聖太、坂本 明子、関 泰一郎、三苫 信之、宗方 保博、本橋 喜一
[システム工学専攻] 王 曉賢、王 雷、岳 浩、木元 マイクン、栗林 孝行、黒坂 渡、黒坂 文奇、黄 魁、小室 匠、杉山 裕一、成 紅梅、陶 俊紀、陶 亮、長谷川 健、潘 玮莉、細矢 浩之、三木 祥光
[電気工学専攻] 飛田 進、真々田 慎也、湯浅 憲豊、雪 弘志、李 永貴
[情報工学専攻] 松田 洋

博士後期課程
[建築学専攻] 有馬 寛子、中嶋 敏之、原田 義邦、廣嶋 鋭幸、福田 孝和、松林 武士、横田 翔、綿引 直人
[システム工学専攻] 金 紅梅
[電気工学専攻] 清川 晋
[情報工学専攻] 橋爪 剛、周 晔

大学院技術経営研究科修了生(予定)

宮代キャンパス学位記授与式 3月20日(火)
神田キャンパス学位記授与式 3月24日(土)

専門職学位課程
[技術経営専攻] 神田 正之、坂本 真一、平野 茂樹、平野 秀輔、藤野 克之、前田 雅史、真野 芳和、山田 浩之、湯野川 恵美、横田 守、劉 銘心、林 長青

# 博士号取得 おめでとーびびーいす

## 課程博士



◆機械工学専攻博士後期課程3年  
【論文題目】脊柱胸郭構造力学モデルの構築と手術シミュレーションへの応用【経歴】1970年1月生。平成16年3月本学大学院工学研究科博士前期課程機械工学専攻修了。平成16年4月本学大学院工学研究科博士後期課程工学専攻修了。平成16年4月本学大学院工学研究科博士後期課程工学専攻修了。平成16年4月本学大学院工学研究科博士後期課程工学専攻修了。平成16年4月本学大学院工学研究科博士後期課程工学専攻修了。

【論文題目】源氏物語絵を通して見た近世上流階級の住宅観に関する研究【経歴】昭和54年11月生。平成16年3月本学大学院工学研究科博士前期課程建築学専攻修了。平成16年4月本学大学院工学研究科博士後期課程建築学専攻入学（指導教授・波多野純）。



◆システム工学専攻博士後期課程3年  
【論文題目】トライボロジー特性を改善するためのダイヤモンドドライクーパーン膜の形成に関する研究【経歴】昭和47年5月生。平成8年3月日本大学理工学部工業化学科卒業。平成15年4月本学大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻入学。平成18年3月同大学院院同研究科同課程同専攻満期退学（指導教授・三宅正二郎）。



◆電気工学専攻博士後期課程3年  
【論文題目】生活環境のための全面温度制御型発熱体の研究（その発熱と安全性について）【経歴】昭和11年8月生。昭和35年3月群馬大学工学部中退。平成12年10月本学大学院工学研究科博士後期課程電気工学専攻入学。平成15年9月同大学院院同研究科同課程同専攻満期退学（指導教授・廣瀬治男）。

◆システム工学専攻博士後期課程3年  
【論文題目】導電性粒子の電界飛翔とその記録技術への応用に関する研究【経歴】1972年9月生。平成15年3月本学大学院工学研究科博士前期課程システム工学専攻修了。平成16年4月本学大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻入学（指導教授・星野坦）。



◆システム工学専攻博士後期課程3年  
【論文題目】導電性粒子の電界飛翔とその記録技術への応用に関する研究【経歴】1972年9月生。平成15年3月本学大学院工学研究科博士前期課程システム工学専攻修了。平成16年4月本学大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻入学（指導教授・星野坦）。

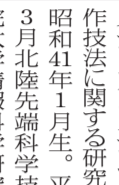


◆建築学専攻博士後期課程3年  
【論文題目】源氏物語絵を通して見た近世上流階級の住宅観に関する研究【経歴】昭和54年11月生。平成16年3月本学大学院工学研究科博士前期課程建築学専攻修了。平成16年4月本学大学院工学研究科博士後期課程建築学専攻入学（指導教授・波多野純）。



◆情報工学専攻博士後期課程3年  
【論文題目】シナリオ記述言語を用いた対話型CG映像制作技術に関する研究【経歴】昭和41年1月生。平成7年3月北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報システム学専攻修了。平成16年4月本学大学院工学研究科博士後期課程情報システム学専攻入学（指導教授・新藤義昭）。

◆情報工学専攻博士後期課程3年  
【論文題目】シナリオ記述言語を用いた対話型CG映像制作技術に関する研究【経歴】昭和41年1月生。平成7年3月北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報システム学専攻修了。平成16年4月本学大学院工学研究科博士後期課程情報システム学専攻入学（指導教授・新藤義昭）。



◆システム工学専攻博士後期課程3年  
【論文題目】トライボロジー特性を改善するためのダイヤモンドドライクーパーン膜の形成に関する研究【経歴】昭和47年5月生。平成8年3月日本大学理工学部工業化学科卒業。平成15年4月本学大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻入学。平成18年3月同大学院院同研究科同課程同専攻満期退学（指導教授・三宅正二郎）。

◆システム工学専攻博士後期課程3年  
【論文題目】トライボロジー特性を改善するためのダイヤモンドドライクーパーン膜の形成に関する研究【経歴】昭和47年5月生。平成8年3月日本大学理工学部工業化学科卒業。平成15年4月本学大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻入学。平成18年3月同大学院院同研究科同課程同専攻満期退学（指導教授・三宅正二郎）。

## 中園君が「マイクロマウスコンテスト」で技術賞



機械工学 ロックンロール競技大会において、技術賞を受賞した。科中里裕一 研究室に所属する中園君（都立中野工業高校出身）が、平成18年11月26日に開催されたニューテックノロジー振興財団主催の「全日本マイクロマウスコンテスト・マイクロマウス」に迷走からの脱出を行わせ、優勝した。中園君は、平成18年11月26日に開催されたニューテックノロジー振興財団主催の「全日本マイクロマウスコンテスト・マイクロマウス」に迷走からの脱出を行わせ、優勝した。中園君は、平成18年11月26日に開催されたニューテックノロジー振興財団主催の「全日本マイクロマウスコンテスト・マイクロマウス」に迷走からの脱出を行わせ、優勝した。

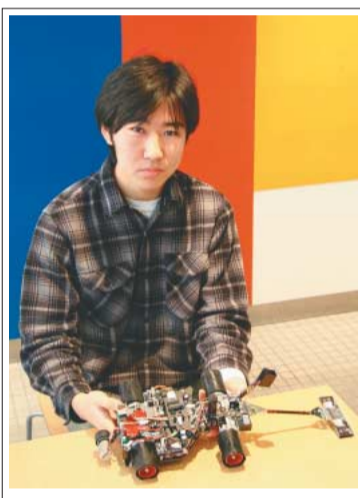
## 水落君が「学生ビジチャレ」で努力賞



（財）学が努力賞を受賞した。今回生サポーターは、主催者側が協賛企業等30社から様々なテーマの「学生ビジチャレ」で、機械工学専攻4年水落君の「保険でカバーできる内容に不満があったから発想した」という。君は語っている。



平成19年1月8日、北海道札幌国際情報高等学校において、ジャパニマインカーラリー2007全国大会が開催された。この予選を勝ち抜き、全国大会出場を決めた一般の部123台の中に、佐藤宏憲君（システム工学科3年）のマイコンカーもあった。



佐藤 宏憲君 システム工学科3年 (新潟県立柏崎工業高等学校出身)

## 「マイコンカーラリー18位・アイデア賞受賞」

念願の全国大会出場までの道のりは長く険しいものだった。もともと、ものを作るのが好きだった彼は、高校2年の時、機械部へ入部した。朝から晩まで部室に置いてある工作機械に向かった。高校3年の時、マイコン

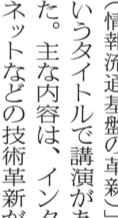
に入部し、全国大会出場を目指すマイコンカーを制作し続けた。過去2回の戦績は、予選コースアウトと予選9位。徐々に上向き、手応えを感じつつあった。そこで、車体が軽くスピードが増し、クラッシュの時の破損を最小限に抑えることが出来た。釣り竿という発想は、彼の興味でもある釣りの知識から得たものだ。竿の材質・性質を解っている彼

## 「彩の国ビジネスアリーナ」で 本学の研究成果を発表



環境特別講演会（講師・黒田聡氏） 世界各地で進む環境対策（情報流通基盤の革新）というタイトルで講演があった。主な内容は、インターネットなどの技術革新が社会変化に与えた影響について、開発現場における環境対応の実例などが取り上げられ、現在の情報産業と環境との関わりについて約90分間の講演であった。

## 新人式講演会



平成19年1月11日午後6時30分から学生自治会主催による第26回新人式講演会が開催された。当日は、サンドウィッチマンによるお笑いライブの後、藤岡弘氏による講演が行われた。30分という短い講演ではあったが、藤岡弘氏は成人を迎えた学生たちに、人生とは何かという問いを熱く語ってくれた。

## センター入試導入

本学では平成19年度入試より大学入試センター試験の得点を合否判定に利用するセンター利用入試を新たに導入し、2月10日現在工学部で79名が合格した。来年度の大学入試センター試験では、本学は共栄大学（春日部市）と共同開催の上で、試験会場となる予定であり、事務局では既に準備に着手している。

## 人事異動

- 【定年退職】(3月31日付) ◆柳下崇教授(共通系) ◆船橋昭一教授(共通系) ◆玉木保教授(機械工学科) ◆堀田勝喜教授(電気電子工学科) ◆菅原和士教授(電気電子工学科) ◆中村洋一教授(システム工学科) ◆神力正宣教授(情報工学科)
- 【退職】(2月28日付) ◆石井隆弘財務部長補佐・経理課長(財務部) (3月31日付) ◆小林勉教授(共通系) ◆清島達郎教授(共通系) ◆鈴木一良教授(共通系) ◆廣瀬治男教授(電気電子工学科) ◆森田信教授(電気電子工学科)

## 天満宮例祭



平成19年度日本工業大学天満宮例祭が、2月24日(土)午前11時から天満宮社前にて挙行された。当日は、天満宮崇徳会から小山会長以下の役員各位、大学から柳澤学長以下、事務部長および各学科学長、学生自治会から河又中央執行委員会委員長をはじめとする8名の代表が参列した。

## 編集後記

卒業おめでとう。胸を張って、本学での学習成果を出発点に社会、大学院等さらに自分の理想とする花を咲かせてもらいたい。卒業生諸君が、必ずや栄光を克ち取ることを祈念する。人生とは何か、どう行動(思考)すれば、他人(社会)の信頼を得る人間になれるかを考え、自らの価値観を確立してほしい。また、多数の卒業生諸君は「ものづくり」を支え、リードするエンジニアであるから、その世界の価値観に基づいた行動をとってもらいたい。もちろん、他人の価値観と摩擦を生じる場合も多々ある。そんな時は、他人の意見を取捨選択し、自らの価値観を見直し、謙虚な気持ちで修正を加える勇気をもってほしいと思う。(F)